

Case : 314

ブレーキ操作のワイヤーが切れ、ブレーキが掛けられなくなる

場面の説明

歩行器のブレーキワイヤーが歩行中に切れて、転倒しそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 廊下
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

歩行器のブレーキは、長期間の使用や負担のかかる使用にて劣化が早くなります。特にブレーキを握りしめたままでの歩行は、ブレーキワイヤだけでなく、タイヤ等にも急激な劣化を生じさせます。パーキンソン症候群など、歩行が加速する傾向の人や下り坂のある環境で暮らしている人が使う歩行器は要注意です。抑速ブレーキ付きの歩行器を検討しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：パーキンソン症候群など、歩行が加速する傾向だった
- 人：ブレーキ部分等メンテナンス不足だった
- 環境：下り坂のある環境で暮らしていた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 314

ブレーキ操作のワイヤーが切れ、ブレーキが掛けられなくなる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

歩行器のブレーキワイヤーが歩行中に切れて、転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ